

# はやま住民福祉センターだより

今月のテーマ

## 認知症の方が孤立しない地域づくりへ ～ミニデイ・サロン～

コロナ禍で自粛していた地域の集まりが徐々に再開している中、久しぶりに会ったご近所の方が、以前の様子と少し違っていて心配・・・ということはありませんか？

コロナ禍以前から、町内各地で住民主体の高齢者向けの集いの場が開催され、地域での高齢者の居場所やつながりづくりの場、介護予防の場として多くの方が参加し、親しまれてきました。一方で集いの場を開催する担い手の皆さんからは、「今まで元気に参加していた方に認知症のような症状が出てきたが、周囲はどんな手助けができるだろうか？」「公的な支援は受けていないようだけど、どこに相談したらよieldろうか？」など個別に相談を受けることも少なくありませんでした。またコロナ禍を経た今、中止となっていた集いの場が再開し、久しぶりに会った参加者の心身の変化に戸惑う声も聞かれます。そこで、去る3月13日に、日頃高齢者の集いの場を運営している町内の生きがいミニデイサービスやふれあいいきいきサロン（以下、ミニデイ・サロン）の担い手の皆さんを対象に、ミニデイ・サロンでの認知症の方への対応や支援」をテーマにした研修会を行いました。



研修会では、高齢者の総合相談窓口である「葉山町地域包括支援センター（堀内・長柄担当）」「葉山町地域包括支援センター清寿苑（木古庭・上山口・下山口・一色担当）」の職員を講師に、日頃ミニデイ・サロンを実施する上で、認知症の方の対応で困ったこと、対応の工夫、困った時の相談窓口や相談の仕方などをグループワークで学んでいただきました。認知症の方をミニデイ・サロンで受け入れる上での具体的な苦労やエピソードをお話いただいた場面では、他の参加者も大きくうなずき共感されている姿が印象的で、多くの方が日頃のミニデイ・サロンで認知症の方にもできる限り参加してもらえようご尽力してくださっていることが感じられました。地域包括支援センターの職員からは、具体的な対応方法のアドバイスの他、「高齢の参加者のことで困ったことがあ

ればいつでもご相談ください」とのコメントがありました。

認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるためには、介護保険のような公的サービスだけでなく、認知症の方も安心して地域参加できる機会や場があることはとても大切です。

地域の皆様のご理解とご協力を得ながら、地域での集いの場が継続・発展できるよう今後も引き続き応援していきたいと思ます。

### 「はやま地域活動ガイドブック」発行しました

葉山町社協、葉山まちづくり協会、教育委員会生涯学習課の3機関協働で、登録している団体・個人ボランティアや地域活動を掲載した「はやま地域活動ガイドブック（令和4年度版）」を3月に発行いたしました。

下記ホームページでガイドブックのデータにアクセスできる他、ご希望があれば上記3機関窓口でも配布しています。

「葉山で何か地域活動を始めたい、参加したい」「今行っている活動に活かしたい」と思っている方、ぜひご利用ください。

ホームページはこちら →



### 不登校・ひきこもりの家族会 葉山 ゆずり葉の会

それぞれの経験や想いを語り合い、不登校・ひきこもりの“今”と“その先”を一緒に考えませんか？

- 日時：5/18(木)、6/29(木) 毎月開催  
10:00～11:30 不登校の子の親  
13:30～15:00 ひきこもりの子の親
- 会場：5/18 ちつくりかん(逗子駅行き風早橋バス停前)  
6/29 葉山町福祉文化会館 2階和室

※ZOOM参加も可

ゆずり葉の会 <https://yuzuriha.jimdosite.com/>  
[zushi.yuzurihanokai@gmail.com](mailto:zushi.yuzurihanokai@gmail.com)